

1 陸特受験記

2023年11月27日

JK1GBE ジィビー

今年初めに 50.240SSB モービルグループの K さんが 2 アマ取得に挑戦すると宣言して、その後見事合格した。この影響を受けたボケ進行中のジィビーもボケ防止のために今からでも何かせねばと考えた。そういえば来年は完全定年で再就職も控えている。幸いなのか長距離電車通勤が続いており、寝ている時間はたっぷりある。ということで、再就職の際にも役立ちそうな？資格として、第二種電気工事士かプロの無線従事者の資格を取ろうと決めた。どちらにするか迷ったが、ボケた頭にはハードルが低いほうがいいかと、まずはアマチュア無線で若干の関連知識がある第 3 級陸上特殊無線技士 (3 陸特) から始めることにした。

早速、メルカリで試験問題解説書を購入して勉強を開始すると、計算問題以外は意外に解けるようになった。それでは 2 級はどんな感じかと同じく試験問題を見ていくと、これも計算問題以外はどうかいけそうに思えたので、受験費用を抑えるため 2 陸特を受けることにした。2 級までは CBT 方式というパソコンによる試験になっている。更に試験会場、試験日を選択できるということで願ったり叶ったりだ。アマチュア無線の 3,4 級も CBT 方式で受験できるようで時代は変わったなとつくづく感じる。

勉強方法としては、まずは計算ができるようになることを優先した。恥ずかしい話だが九九が怪しくなるときがあるし、算数レベルから再勉強ということで、YouTube で小学生相手の動画を見ながら分数計算などを始めた。自分の低レベルさに悲しくなるくらいだったが繰り返し見ているうちに思い出してきて徐々にクリアしていった。次は数学レベルだ。これも YouTube で方程式、指数、対数等を再勉強した。本当に便利になったものだ。更に分かってくると勉強自体が楽しくなった。学生時代との違いに驚く。学生時代に電車通学していたら違った人生があったのかも知れないと思うと何とも言えない。

ということで、数カ月間みっちり勉強して、工学法規ともに満点で 2 陸特を取得することができた。そうなる調子に乗るジィビー！ その勢いで第 2 級海上特殊無線技士 (2 海特) に挑戦したくなった。昔、故 O さんのクルーザーを操船させてもらったことがきっかけで第 1 級小型船舶操縦士免許を取った際、レーダー等を使うために取りたかった資格だったが仕事の都合で諦めていたので、早速勉強開始。結果、2 海特も試験内容の基本は同じだったため、数週間後にあっさり取れてしまった。

それなら第 1 級陸上特殊無線技士 (1 陸特) はどうか。問題解説書を見てみると、これはもう 2 陸特の 10 倍以上の記憶量、計算量 (個人の感想) だった。デシベル計算も加わり一気に自信がなくなったが、それでも今は試験脳になっている。挑戦するなら今しかない！ ということで、兎に角、8 年分の過去問を全て正解できるようになるまで繰り返した。6 月の国試は既に受付終了で受験できなかったため、次の 10 月までは 5 カ月弱あったのが幸いし、結果として 1 陸特も無事取得でき、気が付いたら少しボケが遠のいたようだ！ (あくまで個人の感想)

現在はというと、来年 2 月の第二種電気工事士試験のため勉強中。試験は筆記問題 50 問 (CBT 方式あり)、実技試験 (40 分) もある。法律、用語、工具から配線部品まで全く知らないものが多数あるため、ホームセンターで現物を見ながらの実地訓練と、これまた YouTube の解説動画を繰り返し見ることによって突破しようと目論んでいる。既に 4 年分の過去問をやってみたが正解率は 20~30% 程度。まだまだ先は遠いようで 2 月受験は難しいかも知れない。しかし、あくまでも目的はボケ防止。最近は屋内屋外問わず電気配線に目が行くようになってきている。つまりこれはいいボケ対策！？

また雑駁な寄稿となりましたが、これが誰かのボケ対策 (自己啓発) に繋がれば幸いです。Tnx!